

平成18年度第1回経営協議会議事要旨

日時 平成18年5月30日(火) 13:30～14:56
場所 事務局第一会議室
出席者 三浦(議長), 白滝, 山田, 井上, 伊藤, 菊地, 佐藤, 吉本, 渡邊各委員
白田, 小林各監事
欠席者 加藤委員
陪席 池村, 石尾, 吉岡各理事
熊田教育文化学部長, 飯島医学部長, 吉村工学資源学部長, 石川附属図書館長

議事に先立ち, 学長から構成員の紹介があった。あわせて学長から国立大学法人秋田大学経営協議会規程第4条第3項の議長指名理事として, 山田理事の指名があった。

議 事

1. 平成17年度第8回経営協議会議事要旨の確認

平成17年度第8回議事要旨が確認された。

2. 平成18年度学内予算(案)について

事務局から説明があり, 審議の結果, 了承された。

3. 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

井上学長特別補佐から報告書(案)のまとめ方等について説明があり, 次のとおり意見交換があった(は学外委員, は学内委員)。なお, 学長から本協議会後に意見がある場合は6月5日(月)までに総務課へ提出願いたいこと及び本協議会等の意見を踏まえ最終案を6月15日(木)開催の教育研究評議会並びに次回本協議会及び役員会に諮る旨発言があった。

大学院博士課程の定員充足率は, 16年度に比べ下がっているのではないかと。また, 定員充足率を上げる対策は検討されているのか。

各研究科において検討を行っている。医学研究科では改組等を検討しており, 19年度設置等に向けて準備を進めている。工学資源学研究科では本年度博士後期課程で定員充足率100%を確保した。今後も学生への経済支援, 2年で修了するコース等の設置等増加策を推進していきたい。

通信教育講座に対する評価はどのようになっているのか。社会との連携等大学としての評価はできないのか。

工学資源学部の特記事項として記載している。

通信教育講座を修了したことで社会(企業)に通用する資格等を与えることはできないのか。

通信教育講座は社会教育法で設置されており, 法人化を契機に前向きに改革を行いたい。

4. 大学機関別認証評価自己評価書（案）について

井上学長特別補佐から自己評価書（案）のまとめ方等について説明があり，次のとおり意見交換があった（ は学外委員， は学内委員）。なお，学長から本協議会后に意見がある場合は6月5日（月）までに総務課へ提出願いたいこと及び本協議会等の意見を踏まえ最終案を6月15日（木）開催の教育研究評議会並びに次回本協議会及び役員会に諮る旨発言があった。

観点3の記述の中に「外国人・女性等の教員採用の促進」とあり，「外国人」と「女性」を並列併記している。第3期科学技術基本計画策定の際，パブリックコメントにより目次に女性の項目を取り上げている。「外国人」と「女性」を分けて，「女性」を先に記載してはどうか。

記述の仕方に工夫したい。また，大学として男女共同参画担当の学長補佐を置いている。改善を要する点で「特になし」が多すぎるのではないか。改善を要する点は，さらによくするためにはどうしたら良いかということが大事である。

改善を要する点の記述をもう少し検討したい。

5. 報告事項

(1) 役員の報酬について

事務局から報告があった。

6. その他

次回経営協議会は，6月を予定し日程調整後，後日開催日時を連絡することとした。

資料

1. 平成18年度第1回経営協議会議事要旨（案）
- 2-1. 国立大学法人秋田大学平成17年度学内決算（案）
- 2-2. 平成17事業年度（第2期）財務諸表（案）等
- 2-3. 平成17事業年度財務諸表（貸借対照表，損益計算書）（対前年度比較）
3. 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）
- 4-1. 大学機関別認証評価自己評価書（案）
- 4-2. 選択的評価事項に係る評価自己評価書（案）
5. 平成19年度概算要求事項一覧
6. 国立大学法人秋田大学の18年度年度計画新旧対照表（案）
7. 国立大学法人秋田大学の18年度年度計画新旧対照表